

医学博士のメデイカル・コラム 病気が教えてくれるもの

第33回 優しさもギフト

自分の才能を最大限に活用して生きている人を見ると、「ああ、この人はきっと幸福だろうなあ」と感じるのではないだろうか。例えば、売れている音楽家や俳優、活躍しているスポーツ選手や発展している会社の経営者など…。彼らには、共通しているものがある。それは、彼ら自身が幸福であると同時に、多くの人々を幸福にしていることである。

世の中のほとんどの人は、恐怖心のために小さな目標を掲げてささやかに生きている。失敗することを恐れているというよりも、成功することを恐れているようでもある。それは、自分を『取るに足らない存在』だと決めつけているからだ。そして、そんな自分を守るために、傷つけないために、気付いたら自己中心的に生きている。

誰でも必ず何かひとつは特別な才能を持って生まれてくる。それは、自分

のためにではなく、他者の為に使うようにと与えられたギフトでもある。その才能に早くから気付く人もいれば、いつまで経っても気付けない人もいる。実はもう既に、その才能を発揮しているのに、気付いていない人のなんと多いことか。人生の目的は、自分の才能を活かして、どれだけ多くの人を助け、よい影響を与え、幸福にするかにある。

自分の存在価値をもう一段上げて、何らかの使命を果たすために、意味を持って生まれてきたことを信じよう。幸福にするターゲットを、自分から他者へと切り替えた途端、不思議なことに、勇気や愛といった、人をワクワクさせ、幸せにする力が湧いてくる。「優しさ」だってまた、最高のギフトなのだ。

医学博士 木村謙介

北海道大学医学部卒。慶應義塾大学医学部循環器内科専任講師などを歴任。米カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部留学、最先端の基礎医学と豊富な臨床経験を持つ。「大きな病気を発症する前にその芽を摘み取る方が医療レベルは高いはず」の信念で2012年、きむら内科クリニックを開設。



医療法人

きむら内科クリニック TEL 044(981)6617

麻生区片平5-24-15 きむら内科クリニック 麻生区 検索